

## エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの経過報告・今後の予定

### 1 H23年度 第2回エゾシカ・陸上生態系WGの概要

(平成23年10月29日 斜里町公民館ゆめホール)

主な議題

- ・第2期知床半島エゾシカ保護管理計画（素案）の修正について（報告）
- ・第1回植生指標検討部会会議について（報告）
- ・H23シカ年度エゾシカ個体数調整等事業計画の見直しについて（報告）
- ・中長期目標の位置づけについて

#### (1) 第2期知床半島エゾシカ保護管理計画（案）について

- ・第2回エゾシカ・陸上生態系WGで「素案」報告、一部修正(別添1)をもって「案」(別添2)とした。

※第2回WG以降

- 平成23年12月9日～平成24年1月8日までパブリックコメントを実施。意見0件。
- 平成23年12月12日（羅臼）、12月14日（ウトロ）に住民説明会を開催。内容の修正を要する意見、質問は無かった。
- 第2回科学委員会・第2回地域連絡会議に報告後、作成機関内手続きを経て施行予定。

#### (2) 植生指標及び中長期目標について

- ・エゾシカの個体数管理に関するIUCN勧告を踏まえ、エゾシカによる植生への影響を評価するための指標を検討することとなり、検討部会を設置。第1回会議を9月20日に開催した。
- ・①高山・亜高山植生、②森林植生、③海岸植生について、個体数調整の要否、植生の回復状況を評価するための指標を設定。遺産地域を16のプロットに分け（仮設定）、広域植生調査の結果からそれぞれについて各植生区分毎に評価を行う。
- ・植生に関する知見が蓄積されている知床岬地区について仮の植生指標を設定し、H24シカ年度より運用しながら改良していくこととなった。

#### (3) H23シカ年度エゾシカ個体数調整等事業について(別添3・4)

- ・幌別-岩尾別地区は捕獲手法検討（1年目）を実施。小型囲いわな（自動ゲート式）、くくりわな、冬期閉鎖中の道路からの流し猟式シャープシューティング及び麻酔銃による捕獲を試行する。
- ・ルサ-相泊地区は捕獲手法検討（3年目）を実施。大型囲いわな、小型囲いわな（自動ゲート式）、巻き狩り、道路を通行止にしての流し猟式シャープシューティングを試行する。
- ・知床岬地区は5年目となる。夏期に捕獲支援のための仕切柵を設置。今シカ年度より仕切柵を活用した巻き狩りによる捕獲を行う。

(4) 中長期目標の設定

- ・密度操作実験、個体数調整を行う地域について、それぞれエゾシカの個体数（越冬個体数・捕獲数）と植生の回復についての中長期の目標設定を行い、アクションプランを作成することとした。

2 今後の主な予定

- ・平成24年3月 第2期知床半島エゾシカ保護管理計画 策定
- ・平成24年6月 平成24年度第1回エゾシカ・陸上生態系WG  
H24 シカ年度実行計画の検討  
知床岬地区植生指標の検討  
知床岬地区等中長期目標の検討